

医師連盟 TOTTORI

鳥取県医師連盟発行
発行人 長 田 昭 夫

〒680 - 8585 鳥取市戎町317 鳥取県医師会館内
電話 (0857)27 - 5566

平成十七年度予算案を可決

鳥取県医師連盟は三月十日、米子全日空ホテルにおいて執行委員会及び総会を開催し、平成十六年度事業報告、平成十七年度収支予算案を原案通り可決、承認した。また、特別講演では昨年七月の参議院議員選挙において日本医師連盟推薦で当選された参議院議員 西島英利先生を講師に迎え、「これからの社会保障」と題しての講演を行った。

会議では平成十六年度事業報告について岡本副委員長が資料をもとに会議関係、参議院選挙関係などについて説明し、了承された。

予 算 案

平成十七年度収支予算案額は収入支出合計二千四百五十七万一千円の予算案を承認した。負担金はA①会員一人年額三万円(日医連分二万円、鳥取県医連分一万円)となっている。詳細は別記のとおり。

執行委員会に引き続き、規約改正による初めての医師連盟総会を開催し、執行委員会承認された事項について報告を行い、了承された。

続いて、参議院議員 西島英利先生による「これからの社会保障」と題しての講演を行った。

西島英利参議院議員講演会 「これからの社会保障」

執行委員 明穂 政裕(東部)



西島英利参議院議員

「これからの社会保障」

の演題で西島英利参議院議員のお話を聞いた。三位一体改革で概算要求時に三兆二千億円を一般財源として

員の考えで使い道が決められることになるので注意を要することのこと。財務省の描く平成十七年度の医療戦略は、建前は給付費の数値目標化で、本音は公的給付の削減である。

戦術としては

- (1) 公的保険の対象範囲の見直し(特定療養費拡大等給付範囲の縮小)。
 - (2) 高齢者医療コストの削減(入院全般の包括払い、伸び率管理制度)。
 - (3) 地域・保険者の医療費適正化への取り組み(直接契約の推進・アクセス制限)。
 - (4) 世代間・世代内の保険料
- 国から地方に移すとされ、厚生労働省は九四四九億円をこれに充てねばならない。平成十七年よりの健康フロンティア計画にも影響がでてくる。さらに国民健康保険の一般財源化ともなれば地方自治体の首長や議



米子全日空ホテルに於いて

改革に関する検討チーム」のまとめた改革のビジョンを示す。

趣旨

(1) 国民的な合意を得て改革を推進するため、二十一世紀における医療提供体制の改革の将来像のイメージと当面進めるべき施策を提示する。

(5) 医療提供体制の再構築・効率化（病床規制・入院日数規制）などが挙げられる。

これらは問題点の多いアメリカ型医療を押し付けようとするものである。日本の皆保険に対し保険未加入者四一二〇万人（二〇〇一年）医療費日本三兆円に對し一九二兆円（一九二兆円一ドル＝一一〇円）の制度をである。

そこで「医療提供体制の

カルテ開示など診療情報の提供の促進や医療機関情報の提供の促進があり、加えて根拠に基づく（EBM）の推進が挙げられる。安全で、安心して医療の再構築として医療安全対策（医療事故の発生予防・再発防止システムの構築、医療安全支援センターの設置）を総合的に推進する。

(2) 国民各層における更に幅広い議論が行われることを期待し、今後適宜見直す。基本的考え方は患者と医療人との信頼関係の下に、患者が健康に対する自覚を高め、医療への参加意識をもつとともに、予防から治療までのニーズに応じた医療サービスが提供される患者主体の医療を確立する。

① 患者の視点の尊重として骨子は

② 質が高く効率的な医療の提供として医療機関の機能分化・重点化・効率化（一般病床と療養病床の区分の推進、病診連携・地域医療連携等の推進）を図る。地域における必要な医療提供を確保する。医療を担う人材の確保と資質の向上を行い最後に基盤整備として情報化の推進、メディア・フロンティア戦略の着実

な推進、ナショナルセンターの整備、新しい医療技術の開発促進、医薬品・医療機器産業の国際競争力の強化と大きな方向を示された。

結びに昨年の混合診療反対の六〇〇万の請願書も国会で全会一致で採択されね

ばただの紙くずになるところを十二月二日委員会採択、翌三日衆議院採択と武見議員とともに八面六臂の活躍をされたことを伺い頼もしく思い、さらには地元国会議員への働きかけを強調されたのでわが身に鞭を入れられた思いがした。

日本医師連盟と 国会議員との懇談会

日本医師連盟では、新霞が関ビル内に日医連霞が関研修室を開設し、各種の研修会、記者会見などに活用しており、通常国会中に全国の小選挙区ごとに国会議員との懇談会を開催しており、鳥取県は去る三月三十

一日、鳥根県の合同により開催された。懇談会には日医連から宮崎・桜井両副委員長、三上常任執行委員が出席し、中央情勢報告の後、小選挙区ごとに懇談を行った。鳥取県からは自民党の衆参国会

議員四名全員が出席された。

〈鳥取県選出国會議員との懇談会出席者（敬称略）〉

衆議院議員 石破 茂・川上 義博
参議院議員 常田 享詳・田村耕太郎
県医連 長田 昭夫・岡本 公男
鳥取一区 米本 哲人・板倉 和資・清水 正人
鳥取二区 魚谷 純・野坂 美仁・遠藤 秀之

地元国会議員との

懇談会に参加して

常任執行委員 板倉 和資（東部）

三月三十一日、鳥取県選出の与党国會議員と小選挙区担当責任者等との懇談会

が開催された。鳥取一区は米本会長、中部の清水正人理事、私の三人が出席した。場所は昨年開設された、東京・霞が関の日本医師連盟霞が関研修室である。

午後2時から日医の宮崎副会長、櫻井副会長、三上

について日医の考えを述べられたが、医政に関心のある者には耳なれた話であった。しかし、最近介護予防という新しい概念が導入されようとしている。

運動器リハビリテーション↓寝たきり予防へと一見理想のように思われるが、氏は健康↓疾病↓要介護という経過を考えると、まず第一次に生活習慣の改善、第二次で健康診断、第三次で一部の介護保険が介入してくるという考えを述べられた。最近の介護保険の行きすぎに警告を寄せられたものと思われた。

三上常任理事は消費税が上がった時の損税の問題をとり上げられたが、医療の非営利性（事業税非課税）との関係があるので、せめて軽減税率による課税を考

その後、私達は石破衆議院議員と約一時間談話した。まず、米本会長より

“国防”の本の出版のお祝いがあるが述べられ、なごやかにスタートした。

石破議員はかつて厚生族として国政に携わったという事で、かなり医療政策には自信があるようであった。

懇談の内容を報告し、私の責とします。

一、看護師の養成について

全国的に看護師が不足しており、近年は介護施設等の増加もあり、ますます不足に拍車がかかっている。

国民の健康、医療を守るためには看護師の養成は大切であります。私達は地域医療を守るために、会員の出

費と多くの時間を潰して養成している。行政には更な

る助成をお願いしたいし、その義務があると思われる。

二、医師免許の更新制について

最近、話題となり、一時消滅したかのようであるが、こんな問題が出てくること自体がおかしい。

全体を網羅するような今の医師国家試験を荷したら、大学教授でも不合格者がでるのである。

医師にはそれぞれの特技や専門があり、一般的（公平）な評価は不可能であり、また誰が評価するかも問題である。全く医療の現場が分かっている人への評価であり、そんな人に医療を語る資格はない。

三、医療費について

議員は少し考えたあと



地元選出国會議員との熱心な懇談

「下げねばならないでしょう」とのことでした。国の税金と医療費の伸びを考えたの発言と思われた。国際的な医療費の比較。寿命が伸びると医療費も伸びる。国民負担率はここ十八年間三十七%前後で推移しており、諸外国に比べて極めて低い、等をグラフを使って説明申し上げた。

さらに国民の幸せ（健康）の為の医療の位置づけを考えていただくようお願いしました。

話のついでに、日本の国力が上がれば、税金が増え、相対的に社会保障への

出費が可能となる。北欧のフィンランドがその成功例であり日本でも見習うべきである。

四、医療費の自己負担増について

議員は「自己負担は増やすべき」との意見であったが、それによって受診が中断されるようなことは初耳のようであった。驚いておられること自体が甘いと感じた。

五、混合診療について

導入すれば良い治療が受けられると考えておられたが、所得格差による治療の格差、命の平等性、保険会社の介入等、理解していただいた。

六、介護保険について

東部では、地方議員が経営している施設が多いがどうしてか、等の質問を投げかけられた。正確なことはわからないが、情報の差もさることながら医師は医療をと考える人が多いのでは…。とお答えしておきました。

ここで田村参議院議員が加わられたので、経済的な話をした。

七、薬価と医療材料の内外価格差について

薬価は安くしてもらいたい。製薬会社は儲けすぎ。材料費は特に内外価格差があるが、アメリカは車の仇は医療材料でと考えているので、簡単には安くならない。厚労省だけでなく、外

務省、通産省との関連もあるので難しいでしょうと申し上げた。

石破議員は驚いた表情をされ、田村議員はメモをとっておられたので、先生の最も得意な分野ですでの努力していただきたいと申し上げた。ここで田村議員は退席されたが、その5日後に議員よりファックスを

いただいた。厚労省の保険局医療課からのもので、「医療材料の内外価格差については、以前より指摘されておりました。その是正に取り組んできた。」厚労省の資料

によれば、確かに改定のためにある程度の是正が見られるが、PTCAカテーテル、ペースメーカーなどでアメリカの2〜3倍というところか。

整形外科が用いる人工骨頭に関してはひどい格差は

ない。むしろ後期高齢者にこそ高価な材料を使用する我々に問題があるように感じた。

いずれにしても、素早く対応していただいた田村議員に敬意を表し、今後も引き続きこの問題を解決すべく努力していただきたい。

八、煙草について

日医は値上げして医療費の財源にしようとしているが、喫煙者は何で吸わない人の医療費まで我々が負担するのかと強く反対しているということであった。喫煙による健康障害、受動喫煙の問題等をくわしく説明した。

九、柔道整復師について

「これはタイ式マッサージと同じようなもので、何も資格がないので問題にな

らないでしょう」と話され、全く分かっておられない。法的に急性期の外傷の施術は評されており、年間、数千億円の医療費を使っている。しかも年々急速に増加していることを説明した。

尚、常田参議院議員は少しの間、顔を出されたが、お忙しくて話ができず残念であった。

以上、一時間にわたって石破議員を中心に懇談し

た。

彼ほどの優秀な議員でも、本当の医療の姿が分かってもらっていないというのが率直な印象です。

今回の懇談ですぐに何かが変わることはないが、我々の意見を少しでも頭のすみに残していただければ、何かの機会に強い味方になっていただけると期待しています。

今後、このような会合が

継続され、多くの会員が参加できるようになることを願っています。

鳥取県選出国会議員との懇談会報告

執行委員 野坂美仁（西部）

当日、東京は晴。米子で

の木も見かけました。日本

は未だ開花してない桜も、

医師連盟霞ヶ関研修室は、

国会議事堂周辺では満開

新霞ヶ関ビルのロビー一階

にあり、霞ヶ関ビル側からだと一階に、後ろ側からだと二階になります。部屋は若干分かりづらい隅の方になりましたが、そう広いビルではないのでさほど迷うことなくたどり着ける事が出来ました。

一、日本医師連盟よりの説

明 一四時—一五時

当日は鳥取県と島根県の合同で行われました。まず宮崎日医副会長より、霞ヶ関研修室の設置目的やこの懇談会の趣旨など総論的なお話がありました。日本医師会館のある駒込は議員やマスコミ関係が集まる永田町方面からは遠く、接触をとるのには不便。宮崎日医副会長の提案で設置されたこの霞ヶ関分室は、議員との勉強会、マスコミへの説明に便利であり、事実、出席者が増大しているのとこの席者が増大しているのとこのとでした。また今回のような研修会や懇談会も経費（都心のホテルでの開催を考えると）安く行えるとの事でした。維持費についてもこのような会合を十五回／年行えば元が取れるとのお話でした。

制度の導入検討は削除できたと報告されました。武見敬三参議院議員は当日委員会開催（委員長）の為にやむなく欠席でした。

引き続き櫻井副会長、三上常任理事より、現在の検案事項に対する日医の考え方の説明が配付資料をもとにありました。国民医療費

についてでは、総枠抑制、

伸び率管理についての日医

の基本的な考え方の説明、

介護保険法改正に関して

は、ホテルコストの徴収に

ついて、および介護予防に

ついて、混合診療問題の説

明があしました。宮崎副会

長より、ゼロ税率、消費税

の損税問題での日医の原則

の確認がなされました。

二、衆参国会議員との懇談

一五時—一六時

第一六二回国会（常会）

第一六二回国会（常会）

第一六二回国会（常会）

開催中であり、また当日は小泉首相が突然に青木参議院幹事長会長宅を訪れたと、隣の島根県懇談会に来られるはずの青木参議院議員がマスクミに追い掛けられていて抜け出せられないと姿を拝見出来ませんでした。が、細田自民党官房長官は青いネクタイを締めて出席されていた。

石破、田村議員は予定通りの時間に出席。遅れて川上代議士、常田議員は最後の頃にちょっと顔見せ程度に出席されました。鳥取、島根は自民党の要職に就いている議員が多い事に、後で感心したのは私だけでしょうか。

懇談は鳥取県一区二区の小選挙区にわかれて行いました。西部医師会は二区担当で川上議員でしたが、議員が遅れたため、田村議員

が当初二区側に座られて議論を行いました。適正な医療費について議員の考えをお聞きしたり、国民不安の元凶については「政府に対する不信感による」との答えをお聞きしました。医療器具の内外価格差については後日に田村議員事務室より詳細な調査結果をFAXで頂きました。

川上議員が遅れて到着後、田村議員は一区側に移られて、二区側は川上議員との懇談に移りました。看護師不足、医師国家資格更新制度などについて意見交換を行いました。時間が不足。話の途中で懇談会は未消化のままに終わりましたが、後日米子で西部医師連盟との懇談会を持つ事を約束しました。

各議員とも医師会、医療界に対してご理解はあるよう

に感じました。これを機会に地域で議員との懇談会などが日常的に開催され、相互理解を深める日常的な活動が大切であると感じました。

鳥取県選出国会議員との懇談会に参加して

遠藤秀之（境港市）

三月三十一日（木）の日

会内食堂で、武見敬三参議

本医師連盟霞ヶ関研修室での鳥取県選出国会議員との懇談会に参加させていただきましたのでご報告いたします。どうしておまえが行ったんだと思われるでしょうが、境港からも一人参加ということになり、懇談会の日の木曜を朝から一日休診にしている木曜フリーターの私が当選いたしました。

午後は、国会に近い日本医師連盟霞ヶ関研修室で、最初に医療制度と介護保険制度等の改革に対する、課題と問題点・日本医師会の考え方と対応策、および予算・税制改正についての日本医師会の要望ポイントに

つき講演を聞きました。その後、選挙区選出の国会議員に研修室に来ていただきお話を聞きました。私の選挙区のテーブルには、衆議院鳥取県二区の川上義博議員、参議院全県一人区常田亮詳議員と田村耕太郎議員に来ていただき、熱の入った議論がなされ私にとっても有意義なものでした。

報告文を忙しさにかまけて先延ばしにしているうちに、締め切り直前になってしまいました。ところが、宿題をサボっていたこの二ヶ月がかえって各議員のお話の知識の広さと深さや先を見越した発言や情報の早さに気づかせてくれました。たとえば、当時マスクミを騒がせていた社会保険庁や介護保険の取り扱いにつき議員とお話の中で耳に残っている内容を、五月

つき講演を聞きました。その後、選挙区選出の国会議員に研修室に来ていただきお話を聞きました。私の選挙区のテーブルには、衆議院鳥取県二区の川上義博議員、参議院全県一人区常田亮詳議員と田村耕太郎議員に来ていただき、熱の入った議論がなされ私にとっても有意義なものでした。

報告文を忙しさにかまけて先延ばしにしているうちに、締め切り直前になってしまいました。ところが、宿題をサボっていたこの二ヶ月がかえって各議員のお話の知識の広さと深さや先を見越した発言や情報の早さに気づかせてくれました。たとえば、当時マスクミを騒がせていた社会保険庁や介護保険の取り扱いにつき議員とお話の中で耳に残っている内容を、五月

末になってテレビ等で報道されているのを見て、情報の早さと正確さを認識させました。

数年のうちに日本の人口は減少に転じると予想されており、一部の高齢者も生産人口に組み込まれる高齢化社会となると、なお一層

の医療制度の充実が必要になると思われます。このためにはさらに日医と国会議員との共通の認識が必要となると考えられ、今回のような懇談会はとても意義深いもののひとつであると感じました。

医師連盟国会見学会

執行委員 清水 正 人 (中部)

三月三十一日に日本医師

連盟主催の、衆議院小選挙

区担当責任者懇談会が開催

されました。その懇談会は

午後二時より開催されまし

たが、午前中を利用して有

志で国会議事堂見学に向

きました。有志は四名で西

部医師会より野坂、遠藤先

生、谷口事務長、そして私

清水が参加いたしました。

西島参議院議員の秘書遠藤

さんにお忙しいなか議事堂

内の案内をしていただきま

した。約一時間参議院を中

心に見学させていただき、

昼食時には国会会期末でお

忙しいなか、武見敬三、西

島英利参議院議員御二方が

わざわざ議員会館食堂にて

の昼食会におこしいただい

て国政の貴重なお話を聞

きすることができました。

昼食が終了後は武見先生、

西島先生とも参加されてい

る厚生労働委員会を見学す

ることができました。その

後懇談会の開催される新霞

ヶ関ビルに向かいました。

皆の共通した感想は、中

学生時代の修学旅行を思い

出したかのようにワクワク

したとのことでした。四十

歳をすぎた四名ではありません

ですが、はじめて見聞きする

議事堂内の天皇陛下の玉座

をはじめとするさまざま

ものが、新鮮に感じまし

た。最も印象深く感じたの

は、国会議員はやはり当然

といえそうですが、

入り口、エレベーターにい

たるまで議員のみしか使え

ない専用仕様があったこと

です。武見、西島両議院と昼食をしながらではありましたが、現在行なわれている医療制度改革の審議の内容はきびしいものであるとの話をお聞きしました。三月に西島先生が米子にいらした時にも述べられていた話ではありませんが、改めて今後の審議次第では来年度よりさらにきびしい改定がなされるのではないかと、実感いたしました。武見先生、西島先生とも本当によく頑張っておられる。特に武見先生は厚生労働委員会の自民党筆頭幹事として医系議員としてよく頑張っておられると痛感いたしました。日本医師連盟も医政活動を本格的に行なうために、新霞ヶ関に分室を作ったわけですが、われわれも微力な



平成17年度鳥取県医師連盟収支予算(案)

【収入の部】

(単位:千円)

款	項	予算額	前年度予算額	比較増減額	摘 要
1. 会費 (50.18%)		12,330	12,530	- 200	県医連 @10,000円 × 422人 = 4,220,000円 日医連 @20,000円 × 405人 = 8,100,000円
	1. 会費	12,320	12,520	- 200	
	2. 特別会費	10	10	0	
2. 寄付金 (13.18%)		3,240	3,328	- 88	8,100,000円 × 40% = 3,328,000円
	1. 日医連寄付金	3,240	3,328	- 88	
3. その他の収入 (0.01%)		1	1	0	普通預金利息
	1. 雑入	1	1	0	
4. 繰越金 (36.63%)		9,000	8,000	1,000	前年度繰越金
	1. 繰越金	9,000	8,000	1,000	
収入合計		24,571	23,859	712	

【支出の部】

款	項	予算額	前年度予算額	比較増減額	摘 要
1. 事務費 (0.81%)		200	200	0	1. 一般事務費
	1. 一般事務費	200	200	0	
2. 組織活動費 (15.43%)		3,790	3,790	0	執行委員会旅費、活動旅費 執行委員会諸費 国会議員、県会議懇談会費 医師連盟TOTTORI 3回発行
	1. 旅費	2,000	2,000	0	
	2. 会議費	500	500	0	
	3. 懇談会費	1,000	1,000	0	
	4. 負担金	50	50	0	
	5. 広報費	240	240	0	
3. 選挙関係費 (4.07%)		1,000	2,000	- 1,000	1. 寄付金
	1. 寄付金	1,000	2,000	- 1,000	
4. 寄付交付金 (42.36%)		10,408	11,092	- 684	@20,000円 × 405人 = 8,100,000円 @2,700円 × 299人 = 807,300円
	1. 日医連負担金	8,100	8,320	- 220	
	2. 地区連絡費	1,500	1,500	0	
	3. 支部交付金	808	1,272	- 464	
5. その他の経費 (37.33%)		9,173	6,777	2,396	1. 予備費
	1. 予備費	9,173	6,777	2,396	
支出合計		24,571	23,859	712	

収支差引残額 な し